

水月湖はこうして 世界の標準時計になった

総合科学技術研究機構二十周年
古気候学研究センター設立記念シンポジウム

福井県水月湖 — 日本でもあまり知られていなかったこの湖が、2012年夏、パリのユネスコ本部で開催された国際会議の場で、地質学的な時間をはかるための世界標準時計として認定されました。水月湖の湖底には、一年に一枚づつ形成される特殊な地層、「年縞」が7万年分^{*}も保存されています。その縞模様をすべて数え上げることができれば、どの地層が何年前のものか正確に決定することができます。また地層に含まれる化石や成分を分析することで、当時の環境をくわしく復元することも可能です。水月湖の堆積物は、7万年の歴史を1年ごとに記録した天然の年代記なのです。講演では、6年に及んだプロジェクトチームの努力と、その成果の意義について分かりやすく解説します。

^{*}現生人類の直接の祖先が日本列島に到達したのが約4万年前。縄文時代の始まりが約1万6千年前。

2014 6/1(日) 13:30-15:00 (開場 13:00)

立命館大学びわこ・くさつキャンパス エポックホール

事前申込制・参加費無料

^{*}満席になり次第、受付を締め切らせて頂きます。



講演者 中川 毅

立命館大学
総合科学技術研究機構 特別招聘教授
古気候学研究センター長

1968年東京生まれ。京都大学理学部卒業、エクス・マルセイユ第三大学(フランス)博士課程修了。専門は古気候学、地質年代学。水月湖プロジェクト全体のリーダー。国際日本文化研究センター助手、ニューカッスル大学(イギリス)教授などを経て、2014年4月、立命館大学へ着任。

パネル展示同時開催

奇跡の湖！ —水月湖年縞堆積物の秘密に迫る—

6月1日[日] 11:00 - 15:00 エポックホール 前ロビー

(協力) 福井県

若狭三方縄文博物館

■ お申込み

お申込書によるFAX送信または、右記メールアドレスに、お名前・ご住所・ご連絡先をご記入の上お申込みください。

■ 申込締切日 2014年5月22日(木)

■ お問い合わせ

立命館大学リサーチオフィス(BKC)
総合科学技術研究機構事務局

TEL 077-561-2655

FAX 077-561-2633

MAIL souken@st.ritsumei.ac.jp

077-561-2633

総合科学技術研究機構二十周年 古気候学研究センター設立記念シンポジウム

水月湖はこうして世界の標準時計になった

参加お申込書

名前(代表者)※

他()名参加

学校名または会社名

所属・学年

連絡先住所 〒

TEL

FAX

Email

※複数でご参加される方は代表者氏名のみご記入いただき、他〇名とご記入ください。

ご記入いただきました個人情報は、本シンポジウムの運営管理のみに利用させていただきます。お申し込みいただきました方には、立命館大学リサーチオフィス(BKC)が開催するイベントに関するご案内を送付させていただくことがあります。但し、ご要請があれば速やかに中止いたします。

2014 6/1(日) 13:30-15:00

13:00 開場

13:30 挨拶 渡辺 公三(立命館大学 副学長)

13:40 講演 中川 毅(立命館大学 総合科学技術研究機構 特別招聘教授)

14:40 質疑応答

14:55 閉会の言葉 深川良一(立命館大学 総合科学技術研究機構 機構長)

15:00 閉会

事前申込制・参加費無料

※満席になり次第、受付を締め切らせて頂きます。

立命館大学びわこ・くさつキャンパス
エポック立命 21 エポックホール

アクセス

- ・JR南草津駅下車～タクシーで約10分
- ・JR南草津駅下車～近江鉄道バスで約15分



お問い合わせ

立命館大学リサーチオフィス(BKC) 総合科学技術研究機構事務局

TEL 077-561-2655 FAX 077-561-2633 MAIL souken@st.ritsumeai.ac.jp